

# わらの里通信

第2号

春の訪れが待ち遠しいこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。わらの里通信は八街わらの里をより身近に、より親しみを感じていただけるような紙面作りをモットーに、今号も内容盛りだくさんでお届けして参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



## もちつき大会

ご家族の皆様をお迎えする、新年の大きな行事となるもちつき大会が、平成31年1月12日に行われました。今年は、利用者様38名、ご家族の皆様29名にお集まりいただきました。寒風吹きすさび、昼前頃から雪に変わろうかという冷たい雨がしとしとと振る中、ご来訪いただいた皆様には厚く感謝申し上げます。また、地域の方々や、来賓の方々、「八街和楽太鼓」のメンバーの皆様にも重ねて感謝申し上げます。

さて皆様のご着席を待ち、11時から会は始

社会福祉法人 泰斗会  
八街わらの里  
八街市八街は 3-235  
Tel 043-441-1100  
Fax 043-441-1101  
平成31年1月発行

まじ、まず理事長からの挨拶があり、それから昼食会に進みました。朝早くから施設長をはじめ、女性職員たちが腕をふるい、野菜や肉を切り、鍋に入れ、調理をし

ておりました。今年のお雑煮は、鶏肉、大根、にんじん、里芋、ほうれん草、エノキ、なるなど、例年に比べましても具沢山になっていた気がします。その具材を大鍋で大量に煮こんでいき、味付けを終え、いい香りがたちのぼったところで、準備万端となりました。その出来上がったばかりのお雑煮と、つけあわせのかぶのお新香が運ばれ、各テーブルに行き渡り、いただきます。さてお味はいかがでしたでしょうか。



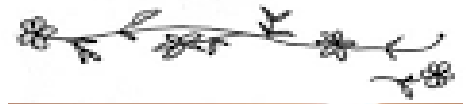
ところで、どうしてお正月にはお餅を食べるのでしよう。一説によれば、平安時代の宮中で、健康と長寿を祈願して行われた正月行事「歯固めの儀」に由来するそうです。また、餅は、ハレの日に神さまに捧げる神聖な食べ物であり、長く伸びて切れないため、長寿の祈りが込められていたということです。しかしながら、年末には「年越しそば」を食す習慣もあり、そこにも、そばが細く長く伸びることから、寿命を延ばす、という願いが込められていたということも考えると、我が国では昔から、年末年始と年をまたいで重ね重ね「長寿」を祈願してきたということになりますね。少々しつこい気もしますが、それでも現在、日本が押しも押されぬ長寿国になったのも、そういった長い歴史の中の祈りが実を結んだ結果なのかもしれませんね。

## 閑話休題

食事のあとはビンゴ大会を行いました。今回は目玉景品として豪華な「特選牛」をご用意しました。はたして幸運は誰の手に・・・!?

ビンゴ大会が始まり20分程が立った頃「ビンゴ！」の第一声が上がりました。それは次の演目の和楽太鼓を演奏するメンバーでもある古郡翔平さんでした！景品の前に出て迷う古郡さんでしたが、やはり「特選牛」を選び、またご家族もとても喜ばれておりました。

## 第2号



その後も続々と「ビンゴー」の声がかかり、景品をゲットしていかれました。どの利用者様も、景品を選ぶのに迷っておられました。何をもらうにしても、景品は嬉しいものです。皆様大事そうにバッグにしまっておりました。それから、先ほどの古郡翔平さんと、もうひとり飛田将さんも在籍する「八街和楽太鼓」さんの演奏が始まりました。いつ聴いても、太鼓の音は心に響いてきますね。

「八街和楽太鼓」の皆さんの演奏はアンコールの声がかかるほどの盛り上がりを見せ終りました。

そしてそのあと、昨年八街わらの里の活動の中で製作した地球儀「モザイク・アース」をお披露目し、その製作過程などを簡単に説明させていただきました。段ボールと折り紙の紙風船のみで作られた地球儀の、その大きさと鮮やかな色合いに驚かれていたご家族もいらつしやるようでした。

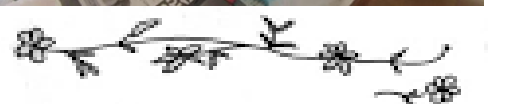


最後は、施設長の挨拶のあと、職員が勢揃いし、皆様の前に整列して一例をしました。こうして今年も新年を皆様の笑顔と共に迎えることができたことを、大変嬉しく思います。

## 活動風景より

日々の活動の中から一シーンを切り取りお届けする「活動風景より」。今回お届けするのは、新年早々に行った「書き初め」です。

学校の授業などではよく行われる習字ですが、八街わらの里で行うのは初めてのことです。今回は本格的に墨汁、習字用の筆、下敷き、半紙、文鎮を用意しました。墨汁で汚れしまうことなどのないよう、慎重を期して、ふたりずつで書きました。墨汁で汚れたくない方には「正月」や「門松」など、書き初めにふさわしい言葉を選んでいただきました。



できあがった書き初めは、施設に掲示しました。並べて鑑賞してみますと、字というものは本当に個性が表れるのだと実感致します。利用者様の個性を発見する・引き出す、ということは私たちの大切な支援の一つでありますので、今回こういった活動が出来たことはとても意義のあることだと思っております。また、習字は、今後も活動の中に取り入れ、継続していきたいと思っております。





寒波もようやく峠を越え、冬將軍も帰り支度を始めたのか、陽射しが暖かく感じられた2月2日、今年も豆まきを行いました。

例年通り、鬼のお面と、投げる豆の代わりに丸めた新聞紙を沢山用意し、いよいよ鬼の登場を待つ皆さん。今年は誰が鬼役をやるのか、わくわくする瞬間です。その舞台裏を覗いてみますと——今年の年男である支援員大塚さんがお風呂場の大鏡の前で入念に鬼の扮装を確認しており、また年女である支援員尚美さんは鬼の扮装をしたまま、廊下の壁に顔を近づけ、そのまま直立不動の姿勢でじつとしていました。きつと鬼になりきるため意識を集中させていたのでしょう。

司会が鬼を呼ぶと、駆けだしていく鬼・大塚、壁とにらめっこをしていた鬼・尚美も、はつと我に返りその後を追って走ります。そこからもう、利用者様も鬼も、職員も司会も、カメラマンまでもが誰彼かまわず丸めた新聞紙を投げつけ、ぶつけられ、倒され、その上にのしかかり、笑いと怒号と歓声が入り交じる、てんやわんやの大騒ぎに。終わってみれば、散乱した新聞紙と外れた鬼の面、そして寒さも忘れて汗を流し、息を切らせた利用者様たちの姿。こうして今年も無病息災を願う豆まきを元気に終えることが出来ました。



### ひだまりの里地鎮祭

特別養護老人ホームひだまりの里の地鎮祭を、1月29日（火）に執り行いました。当日は強い北風が吹きすさんでいましたが、北村新司・八街市長をはじめとした多くの来賓の方々にご出席いただき、土地の神様をまつり、工事の無事進行を祈願しました。工事は2月に着工し、来年の1月に竣工の予定です。工事の進捗状況は随時紙面にてご報告いたしますので、お楽しみに！



### バレンタインデー

今年も2月14日に、バレンタインデーの催しを行いました。今回のバレンタインデーは、女性が男性のために別室で静かにチョコレートをラッピングし、それを思い思いの男性に手渡しするというかたちで行われました。

いざ女性から男性にチョコレートの手渡しをする、女性が意外な利用者様にお渡しする場面もあり、「実は気になっていたのかな」と推測も出来て面白いですね。

今回は、八街わらの里の年長組である石渡達人さんのもとに、弱冠22歳の女子である三須沙弥香さんがさつと走り寄り、チョコレート差し出しておりました。頂いた石渡さんも照れたような、嬉しいような表情を見せてくれました。

とてもハッピーな一日になりました。





平成31年3月2日、一日早いひな祭りを行いました。今年は一昨年から活動を始めてい、地域の高齢者の憩いの場である「ひだまりサロン」に集っていただいた高齢者の方々と一緒に、七段飾りの雛人形を飾り、その雛壇の前で、皆で記念撮影を行いました。皆さんおめかしをしてきたでしょうか？

お内裏様やお雛様をはじめとする人形たちも、きりりと引き締まったポーズですました表情を浮かべています。人形たちも、年に一度の晴れ舞台を緊張しながら迎えていることでしょう。そして役目を無事に終え、人々が眠りについた深夜の頃、お内裏様はやれやれと足を崩し、横になり、五人囃子の奏でる音楽を聴きながら三人官女のお酌を受け、顔を赤くするに違いありません。ともあれ、桃の節句を皆でお祝いしました。



## 新規職員紹介



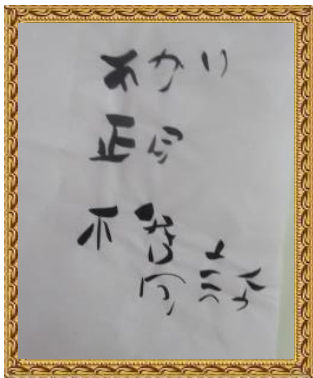
明るく楽しく頑張ってまいりますので、宜しくお願いします。

この度、八街わらの里でお世話になることになりました「渡邊一徳」と申します。不慣れな所は多々ありますが、元気で

## 今号のベストシヨット

毎号でお送りする「今号のベストシヨット」今回のベストシヨットはこの一枚です！

書き初めの日に行った習字で、とても印象的な、言葉が踊っているような習字をしたためた、橋詰千香さんの書を、今回のベストシヨットとさせていただきます。



字体だけではなく、「あかい正月」といった、独特の言葉選びの感性も光っていました。橋詰さんには、これからも書をしたためていただけたらと思っております。

## 行事予定

- 3月 ひな祭り  
ホワイトデー
- 4月 歓迎会  
花見会
- 5月 軽スポーツ大会  
交流会&保護者会



## 「寄付のお礼」

- 八街市社会福祉協議会様  
パールシヨップともえ様  
サークルフレンドリー様  
竹本靖男様
- お菓子  
タオル  
お砂糖

また、ご家族の皆様方より、お菓子や野菜、お雛様人形等を頂き、心より感謝いたします。

鬼は〜そとっ

